MITSUBISHI
三菱白熱灯器具

白熱灯ブラケット

取扱説明書

形名

WL3625
WL3626
WL3627

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきましてありがとうございました。

お客さまへ

ご使用前に、正しく安全にお使いいただくために、この「取扱説明書」を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

施工者さまへ
取付工事のあと、必ずこの「取扱説明書」を使用者さまにお渡しください。

お客様へ ●この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は法律で禁じられております。

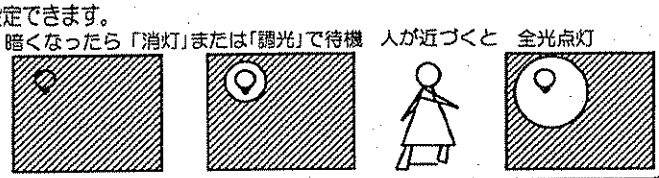
■安全のために必ずお守りください。

商品および「取扱説明書」には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全にお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■人感センサー付照明器具

・センサーが人の動きを検知して自動的に点灯する機能を持っています。
・照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るい時は点灯しないように設定できます。
・暗くなってからの点灯方法が選べます。
　1．消灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
　2．調光点灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
　3．調光点灯で6時間待機。6時間後は消灯で待機。
　　人が近づくと点灯します。



■事前に確認ください

(2ページの「■器具を取り付ける前に」をご確認ください)

●必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
●1つの壁スイッチには1台でご使用ください。
（1つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。）
●調光器のついている回路ではご使用になれません。
●白熱灯は点滅が多いと短寿命になります。

⚠ 警告

●器具の取り付けは、取扱説明書に従い行う。取り付けが不備な場合は、落下・感電・火災等の原因。（取り付け）

●必ずアースを取り付ける。アースが不完全な場合は、感電の原因。（アースは法によりD種接地工事が必要です。）（アース工事）

●ランプに直接水をかけたり、器具のすきまなどに針金などを差し込まない。ランプの破損によるけがや、感電・火災の原因。

●この器具は、壁面の丈夫なところに取り付ける。薄い壁面・弱い壁面等に取り付けると、ねじ止めが弱く落下の原因。（取り付け）

●照明器具及びセンサー部分を分解や改造したり、部品を変更しない。火災・感電・落下の原因。（改造）

●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しない。火災等の原因。（可燃物）

⚠ 注意

●交流100V以外の電圧で使用しない。器具に過電圧が加わるとランプ・器具の短寿命、過熱による火災の原因。（電源電圧）

●器具取付面に凹凸(タイル貼りなど）がある場合には、必ず木台を使用するか取付面を平面にし電源穴を内側よりコーキングして器具を取り付ける。（防水）

●この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。

●塩害地や湿気の多い場所では使用しない。部品の腐食や結露の原因。

●振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所では使用しない。器具破損の原因。

●風の強い場所には取り付けない。落下の原因。

●調光器が取り付いた配線で使用しない。器具やランプが短寿命となる。

●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっているので手を触れない。やけどの原因。（接触禁止）

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切る。感電の原因。（電源を切って）

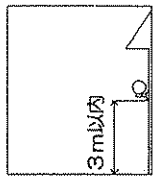
●ランプ交換の際は、必ず器具に表示されているランプの種類、ワット（W）数の適合ランプを使用する。間違った種類、ワット（W）数のランプを使用の場合は、過熱により器具が変形・変色したり火災の原因。

■照明器具を取り付ける前に

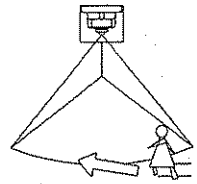
■必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
■調光器のついている回路ではご使用になれません。
■取付専用の白熱灯照明器具以外、取り付けることができません。電球形蛍光ランプは使用できません。
■人感センサースイッチの性能を確保するため、照明器具の設置場所は十分検討の上決定してください。

人感センサースイッチの検知エリアを考慮して照明器具を設置してください。

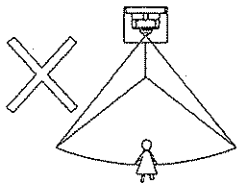
●高さ3m以内に設置してください。



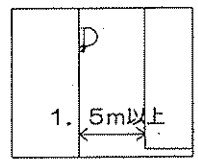
●センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。



●センサー正面に向かって人が近づく様な位置にしますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。



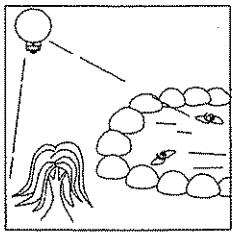
●器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁から1．5m以上離して取り付けるかもしくは人感センサー検知部の方向を調整してください。



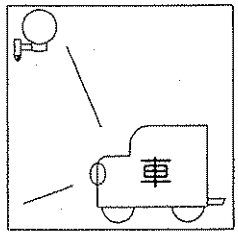
■雨や雪などをセンサーが検知してランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

■次のような場所には取り付けないでください。(検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。)

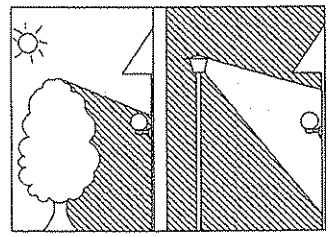
検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所へはお避けください。



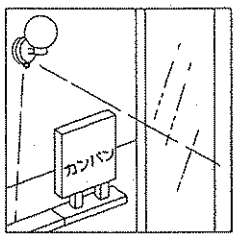
車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。



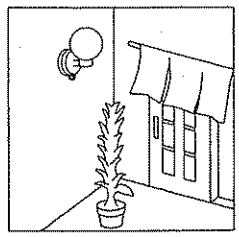
昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。
・取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます。



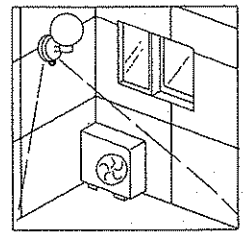
前面に障害物のある場所。
(透明なガラスでも遮断されます。)



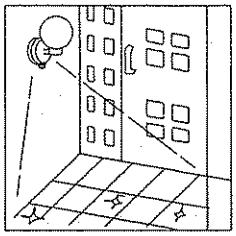
風などでよくゆれるのれんや植物などがある場所。



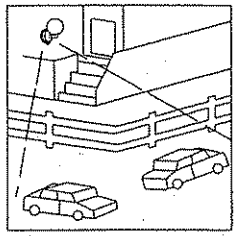
エアコンなどの排気口の近く。
排気口に対向する場所。



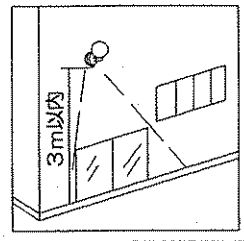
大理石など反射の強い床面のある場所。



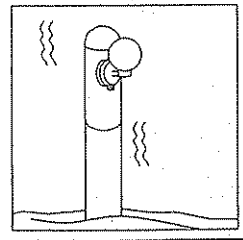
検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。



取付高さが3m以上になる場所。



振動の激しいポールなど、不安定な場所。



■お手入れのしかた

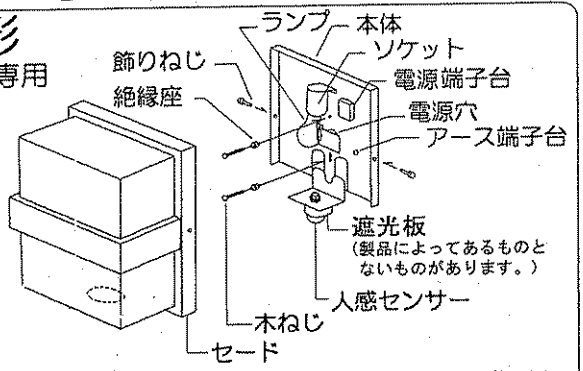
⚠ 警告 お手入れの際は必ず電源を切ってから行う。感電の原因。

■人感センサースイッチはぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよく絞ってから拭いてください。

⚠ 警告	■人感センサースイッチに直接水をかけて洗わない。 破損・感電・火災等の原因。
⚠ 注意	■ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしない。 破損等の原因。

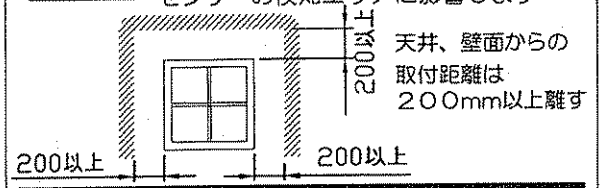
■各部のなまえ

防雨形
壁面取付専用



・この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

■器具を取り付ける前に



⚠ 警告

● 取り付けの際は取付面の凸凹を調べて平滑な所に取り付ける。
また、電源穴を内側よりコーキングする。
造営物によっては、ポリ台・木台を使用する。
取り付けが不十分な場合、湿気・水気の浸入による
絶縁不良・感電の原因。

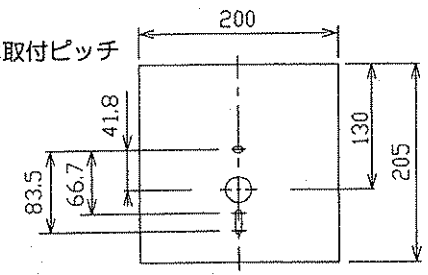
■器具の取り付けかた

⚠ 警告 ● 器具の取り付けは確実に行う。
取り付けが不十分な場合、落下・感電・火災等の原因。

本体を取り付ける

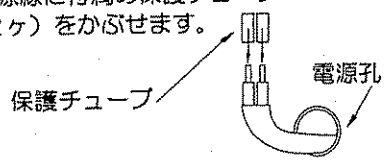
1. 器具を取り付ける前に飾りねじ2本を外して、
本体からセードを外してランプを外してください。
2. 本体の中央電源穴に電源線とアース線を通してから、
木ねじ用穴を利用して付属の絶縁座と木ねじ(2本)で
本体を取付面にしっかりと取り付けてください。

本体取付ピッチ

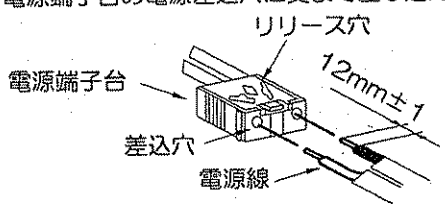


電源線を電源端子台に結線する。

1. 電源線の外装被覆を保護チューブの長さに合わせ
皮むきをします。
2. 電源端子台のストリップゲージに合わせて電源線の
被覆をむきます。(１２mm±１mm)
3. 電源線に付属の保護チューブ
(２ヶ)をかぶせます。



4. 電源端子台の電源差込穴に奥まで差し込んで接続してください。



5. 結線後は電源線を壁側へ押し込んでください。
6. アース線をアース端子に接続してください。

⚠ 警告 感電・焼損・火災の原因

● 器具の取り付けには方向性があります。本体表示に従って行う。
指定方向以外の取り付けを行うと、落下・感電・火災の原因。

● 電源線がランプにあたらない様、壁側へ押し込む。
器具内でたるまないようにする。

⚠ 警告 感電・発熱・焼損・火災の原因

● 電源線皮むき寸法は12mm±１mmで、
垂直にカットする。
● 結線は電源線を確実に奥まで差し込む。
● 電源線はまっすぐなΦ1.6mm、Φ2.0mm
銅単線を使用する。
● 曲がった電源及び、より線は使用しない。
● 電源線結線及び器具加工の際は電源線を
ねじったり回したりしない。
● 必ず保護チューブを取り付けて施工する。

※電源線を抜くときは電源を切ってからマイナスドライバーを
リリース穴に差し込んで電源線を引抜いてください。

ランプを取り付ける。

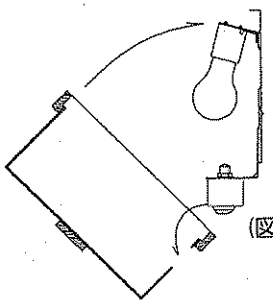
1. ランプをソケットに取り付けてください。

検知エリア範囲とセンサーモードを設定する。

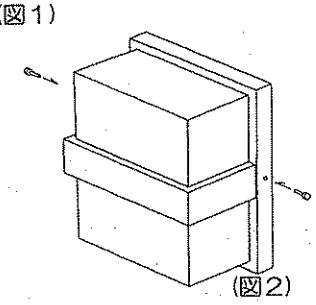
1. 設定方法は４ページのテストモードをご覧ください。
セードを取り付けると動作設定スイッチを調整することが
できません。

セードを取り付ける。

1. センサー部分をセード下面穴に合わせながら本体の上面部に
セードを引っ掛けてください。(図１)
2. セードと本体の穴に合わせながら飾りねじ（２個）で
しっかりと締めこんでください。(図２)



(図１)



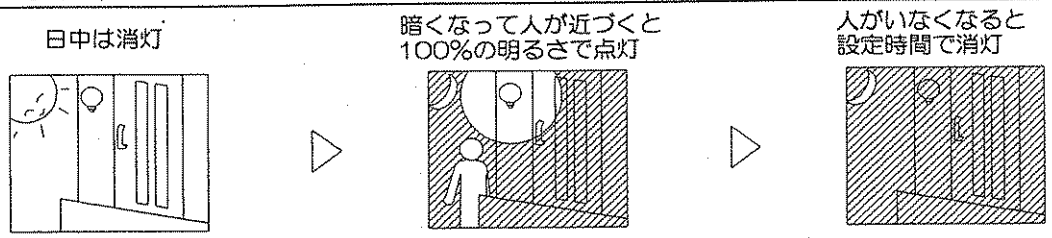
(図２)

お願い	人感センサー付き器具には電球形蛍光灯を使用しないでください。 器具・ランプの故障の原因。

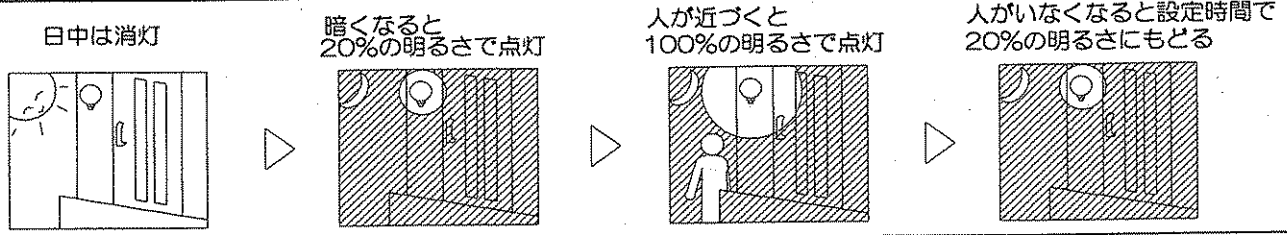
■センサー機能について

●人感センサースイッチの切替スイッチを組み合わせることにより、いろいろなモードに設定できます。
●壁スイッチの操作で連続点灯（８時間）させることができます。

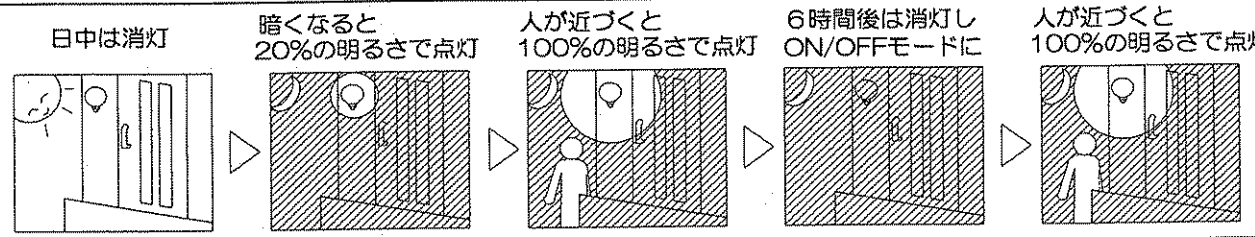
●ON／OFFモード　暗くなって人を検知した時だけ点灯させたい



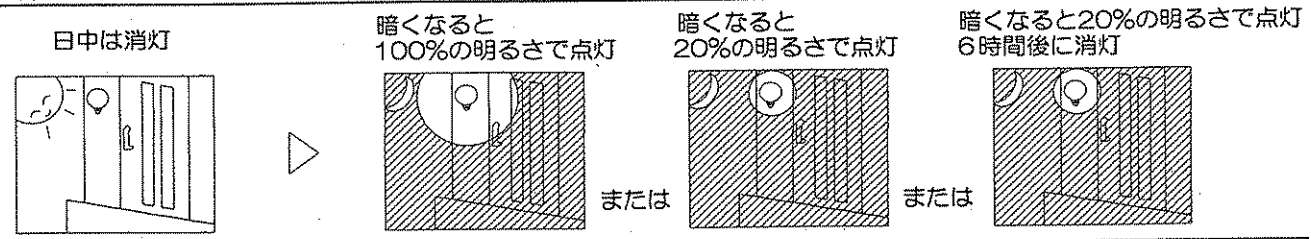
●調光モード　一晩中ほんのり点灯して人が近づいた時は明るくしたい



●６時間調光モード　一晩中ほんのり点灯はもったいない、でも不用心

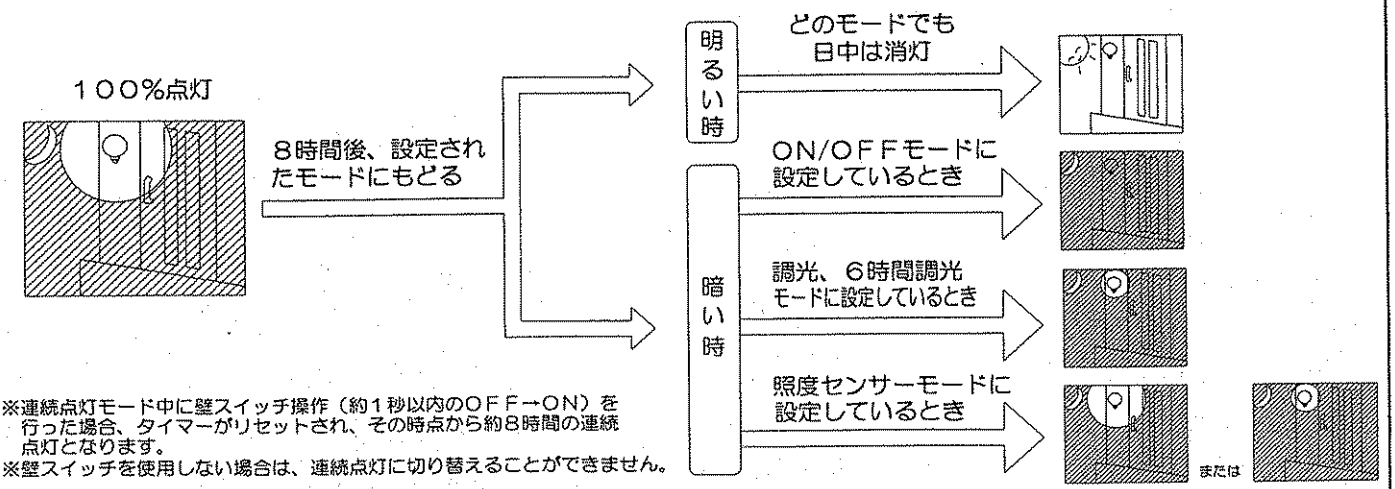


●照度センサーモード　人の検知に関係なく一晩中点灯させたい



●連続点灯　まわりに関係なく点灯させたい

壁スイッチを操作して連続点灯（８時間）させることができます。



※連続点灯モード中に壁スイッチ操作（約１秒以内のＯＦＦ→ＯＮ）を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約８時間の連続点灯となります。
※壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができません。

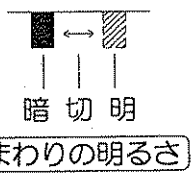
■設定方法

●壁スイッチをONすると約１分間全光点灯します。その後約５秒間消灯してからセンサーが動作します。
●使用中に切替スイッチを切り替えると、約５秒間消灯してから設定状態で動作します。

●ON／OFFモード

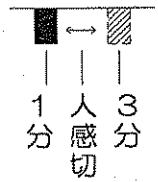
1．[動作]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

2．[まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約１５ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約４５ルクス以下となると待機状態となります。

3．[点灯時間]のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。



「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。

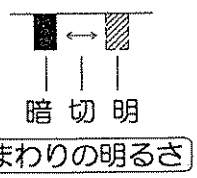
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

●調光モード

●出荷時は、調光モードに設定されています。

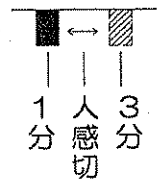
1．[動作]のスイッチを「調光」に設定してください。

2．[まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約１５ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約４５ルクス以下となると待機状態となります。

3．[点灯時間]のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。

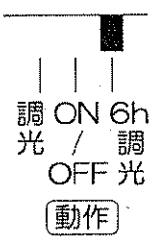


「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。

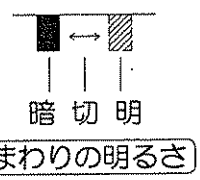
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

●６時間調光モード

1．[動作]のスイッチを「6h調光」に設定してください。

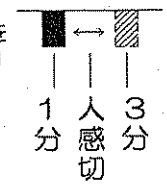


2．[まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約１５ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約４５ルクス以下となると待機状態となります。

3．[点灯時間]のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。



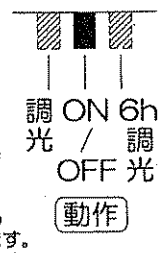
「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。

※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

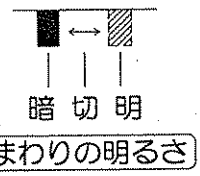
●照度センサーモード

1．[動作]のスイッチを設定してください。

「ON/OFF」：１００%の明るさで点灯します。
「調光」：２０%の明るさで点灯します。
「6h調光」：６時間、２０%の明るさで点灯します。６時間後消灯します。

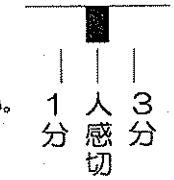


2．[まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約１５ルクス以下となると点灯します。
「明」：約４５ルクス以下となると点灯します。

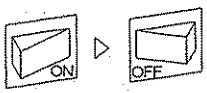
3．[点灯時間]のスイッチを「人感切」に設定してください。



●連続点灯モード

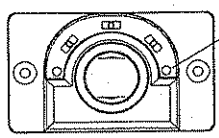
●連続点灯設定方法

1．壁スイッチを一度ＯＦＦさせて



2．約１秒以内にＯＮにする

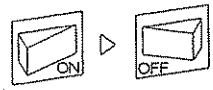
約1秒以内にON



連続点灯モードになると、緑色の表示灯が点灯します。

●連続点灯設定解除方法

1．壁スイッチを一度ＯＦＦさせて



2．約２秒以上でＯＮにする

約2秒以上でON

※人感センサースイッチの緑色の表示灯は消灯します。

壁スイッチをＯＮした直後は、約1分間100%点灯します。
約５秒間消灯したあと、センサー待機状態となります。

■照明器具設置後検知エリアを決定する

●検知エリアを決定するには「テストモード」で行うと便利です。
「テストモード」は周囲が明るいときでも、人を検知するたびに約５秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。
（「テストモード」への設定は、■設定方法　●テストモード　を確認してください。）

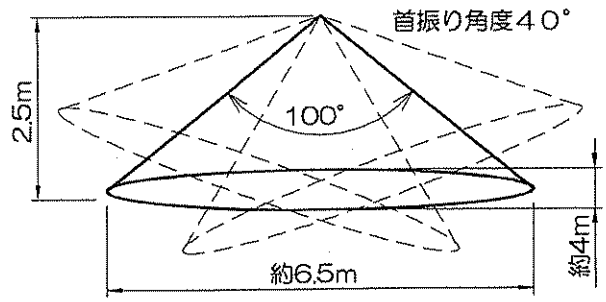
1．切替スイッチを「テストモード」に合わせる。

2．壁スイッチをＯＮします。
※壁スイッチをＯＮすると、約１分間全光点灯します。その後約５秒間消灯してからセンサーが動作します。

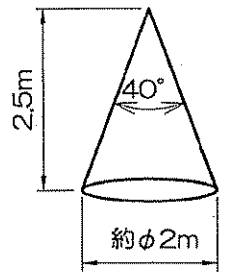
3．人感センサー検知部を動かして位置を決めてください。

検知エリア

※検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
（特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。）



エリアカットマスク使用時



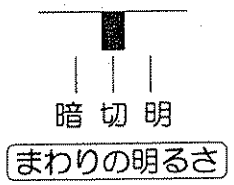
エリアカットマスクを取り付けることにより検知エリアをせまくすることができます。

■設定方法

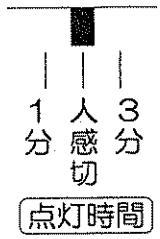
●テストモード　周囲の明るさに関係なく人を検知すると５秒間点灯します

1．[動作]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

2．[まわりの明るさ]のスイッチを「切」に設定してください。



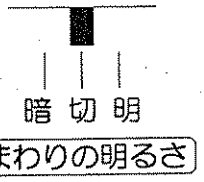
3．[点灯時間]のスイッチを「人感切」に設定してください。



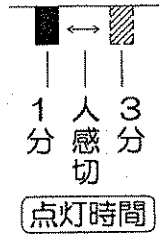
●人感センサーモード　周囲の明るさに関係なく人を検知すると点灯します

1．[動作]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

2．[まわりの明るさ]のスイッチを「切」に設定してください。



3．[点灯時間]のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。

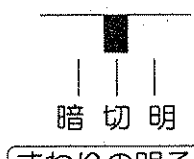


「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。

※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

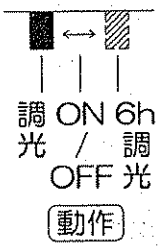
※下記スイッチの組み合わせでは動作しません

●下記のような切替スイッチの組み合わせとすると、照明器具のランプが約0.5秒間隔で点滅します。設定を変更してください。

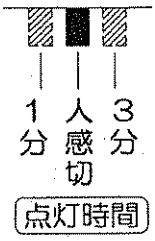


1．[まわりの明るさのスイッチを「切」に設定する

▷



2．[動作]のスイッチを「調光」または「６ｈ調光」に設定した場合



3．[点灯時間]のスイッチはどの位置でも変わりません

■故障かな？と思ったら

■センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

現象	考えられる原因	処置方法
周囲が暗くなっても点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 （お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。）
	壁スイッチ（電源）がＯＦＦになっている。	壁スイッチ（電源）をＯＮにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。（工事店等に依頼してください。）
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	[まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。	[まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。P6
	センサーに周りの光が入っている。	光が入らないようにしてください。※4
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 （お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。）
	タイマー回路等に接続されている。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
人が近づいても点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 （お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。）
	壁スイッチ（電源）がＯＦＦになっている。	壁スイッチ（電源）をＯＮにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。（工事店に依頼してください。）
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	厚手の服を着ている。傘をさしている。	熱量を検知するためコート等を着込んでいたり、傘をさしていると体温が検知されず反応しない場合があります。※1
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	スイッチの設定を変えてください。P6
	センサーの表面に汚れが付着している。	水で固く絞った柔らかな布で軽くセンサー表面の汚れを落としてください。
	検知エリアに人が入っていない。	検知エリアの確認、調整を行ってください。P6
	照度検知に対し、周りが明るすぎる。	設定されたモードより暗くなると人感センサーが動作します。P6
	タイマー回路等に接続されている。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
点灯したままで消灯しない。	連続点灯モードになっている。(緑の表示灯が点灯している)	センサーモードに戻してください。P6
	電源の瞬時停電でセンサーが連続点灯モードになっている。	電源の瞬時停電があると、連続点灯モードになる場合があります。P6
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	照度センサーモードになっています。スイッチの設定を変えてください。P6
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	検知エリア内に、常にセンサーに反応するものがある。	検知エリアから反応するものを取り除いてください。※2
	激しい雨が降っている。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合がある。	検知エリアの調整をしてください。※1
	調光、6h調光モードになっている。	[動作]スイッチを確認してください。P6 調光、６ｈ調光モードは約20%の明るさで点灯します。
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 （お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。）
人が近づかなくても点灯する。	照度センサーモードで、周囲が暗くなった。	照度センサーモードは周囲が設定より暗くなると点灯します。
	検知エリア内にペットなどの動物がいる。	ペットなどの動物にもセンサーは反応します。※1
	激しい雨が降っている。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合がある。	検知エリアの調整をしてください。※1
	検知エリア内を車などが通る。	車の通りが激しいところでは誤動作しますので、検知エリアの調整を行ってください。※1
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	電源電圧の一時的で急激な変動があった。	※3
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 （お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。）
ランプが短寿命である。	白熱ランプのランプ不良の場合がある。	壁スイッチをＯＦＦにしてからランプを交換してください。
	電源電圧が高めである。	電圧が高いとランプ寿命が短くなります。白熱電球は１１０Ｖのランプを使用することをおすすめします。
	振動が多い場所に取り付けてある。	振動でランプが切れる場合があります。 振動がない場所に取り付けてください。
	他社製ランプで器具に適合していない。	当社指定ランプをご使用ください。
	電球形蛍光ランプを使用している。	電球形蛍光ランプは使用できません。器具に適合する白熱電球に交換してください。

■故障かな？と思ったら（つづき）

現象	考えられる原因	処置方法
検知エリアに人がいるのにランプが消える。	ランプが切れた。	壁スイッチをＯＦＦしてからランプを交換してください。
	検知エリア内で動かなくなった。	検知エリア内に人がいても、動きがない場合にはセンサーが検知しないためランプが消えます。 動くとセンサーが検知しランプが点灯します。
	センサーの電源を都度、入り切りしている。	電源ＯＮ直後はセンサー内のマイコンが調整を行ってしまいますので、1度ランプが点灯し消灯して待機状態となります。※3
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	明るくなると消灯します。スイッチの設定を変えてください。P5
明るさに関係なく人に反応し点灯する。	[まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。	[まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。P5
明るさに関係なく点き放しになる。	誤った壁スイッチ操作や瞬間的な停電などで連続点灯モードになっている。（緑色の表示灯が点灯している）	壁スイッチを2秒以上OFFにしてから再びONしてください。 設定されているセンサーのモードに戻ります。P5
ランプが点滅する。	センサーの切替スイッチが設定されていない位置となっている。	切替スイッチの位置を変更してください。P5,6
	ランプの光を照度センサーが検知してしまっている。	器具設置場所を変更してください。※4

※1　人感センサーは赤外線検知方式となっています。これは検知エリア内の熱変化（温度変化）を検知する方式です。このため、検知エリア内でのペット等の動物の動きにも反応します。また、木や池等の水面が風等で動いた場合や、雨等の水滴がセンサー表面に付着した場合や、水滴がセンサー前面を動いても反応する事があります。また冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、服の表面温度が外気と差が無いためにセンサーが反応しないことがあります。

※2　このセンサーは、照度センサーと人感センサーが複合しています。点灯は照度センサーが優先され、消灯は人感センサーが優先されます。通常は周囲が暗くなり照度センサーが検知状態となってから人感センサーが動作します。人感センサーが検知して全光点灯状態のときは照度センサーは動作しません。この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯を維持すると、周囲が明るくなってもランプは点灯したままとなります。

※3　電源投入直後は約１分間ランプ点灯状態となりセンサー内のマイコン調整を行います。マイコン調整が終了するとセンサーは約５秒間消灯してからセンサー待機状態となります。

※4　反射が強い床面や壁面に取り付けると、ランプの光が反射して、照度センサーが明るくなったと検知して消灯し、消灯後暗くなったと検知して再び点灯するといった点滅状態となる場合があります。（点滅間隔は約５分）この場合、ランプ照射部分が可動できるものは床面や壁面を照らさない方向に可動させてください。その他の器具は、器具の設置位置を変更するか、床面や壁面が反射しないような措置が必要となります。

⚠安全に関するご注意　～～照明器具の寿命について～～

- **照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。（JIS C 8105-1 解説による。）**
- **周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。**
- **点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。**

保証について

○保証期間は商品お買上げ日より1年間です。
ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。
※ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品、セード・グローブ類・リモコン送信機等は対象外とさせていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。

○保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

○保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
1.お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
2.施工上の不備に起因する故障や不具合
3.使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
4.車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
5.火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
6.日本国内以外での使用による故障および損傷
7.法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

アフターサービスについて

○修理を依頼されるとき
1.保証期間内の場合
販売店のレシート等、お買上げ日を特定できるものを添えて、お買上げ販売店までお申し出ください。
2.保証期間を過ぎている場合
お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

○補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

○アフターサービスについてご不明な点（修理・取扱いのご相談）は、お買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合、
1.修理のお問合わせは、「修理窓口」へ
東日本フロントセンター☎(03)3424-1111 東京都世田谷区池尻3-10-3
西日本フロントセンター☎(06)6454-3901 大阪市北区大淀中1-4-13
フリーダイヤル 0120 (0120) 56-8634
2.その他のお問合わせは、「ご相談窓口」へ
お客さま相談センター(フリーコール)
FC (0120)139-365　東京都世田谷区池尻3-10-3

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

三菱電機株式会社　〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
製造会社 三菱電機照明株式会社　☎(0467)41-2729　FAX (0467)41-2786

白熱センサー器具　(0031817)A
E762Z569H50